



2017年5月31日



おかげさまで  
100回を迎えました。  
今後ともご愛顧の程  
よろしくお願いたします。

Vol.100

積立  
投資

毎月コツコツ資産運用！

おかげさまで、「こよみ」は掲載100回目を迎えました。皆様にご愛読いただいていることを励みに毎月コツコツと続けてきた結果、これだけ長く継続できたのだと思います。

この毎月コツコツ、長期で継続するというのは、資産運用でも手軽に行なうことができます。

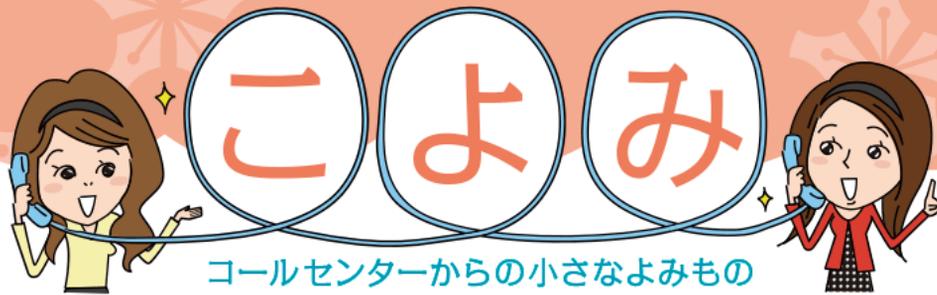
それは、「自動積立投資」という方法です。

また、一部の投資信託は、今後「積立NISA」という新たな非課税制度で利用できるようになります。

そこで今回は、「自動積立投資」について押さえていただきたいと思います。



□当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。□投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



## コールセンターからの小さなよみもの

自動積立投資とは、毎月決められた日に一定金額を自動的に投資することです。例えば、毎月1万円ずつなど少額から始められるので、積立投資は比較的容易にでき、将来に向けた資産形成が可能です。日本では低金利が続いており、預貯金だけでは積み立てた金額を効率的に増やすことは期待できません。そこで、株式や債券などに投資する投資信託を利用すれば、運用益を得ることによって効率的に資産を増やすことが期待できます。ただし、投資信託は基準価額が変動する商品なので、投資するタイミングに迷うこともあるかと思えます。場合によっては、高値でいっぺんに買ってしまったと後悔することもあるでしょう。そこで、定期的に一定金額を投資する自動積立投資を行えば、取得価額が分散できます。（基準価額が下落している時には取得できる口数が多くなり、基準価額が上昇している時には取得できる口数が少なくなります。）これを、「ドルコスト平均法」と言います。自動積立投資を続けていく中では、基準価額が下落し続ける局面や、大きく値上がりした局面で購入することもあるかと思えます。しかし、様々な局面で購入することで取得価額が平均化されるため、相場環境の変動に一喜一憂せずに長期運用ができるということは、自動積立投資の魅力ではないでしょうか。

長期の目線で資産運用を考えると、自動積立投資は有効な方法だと考えられます。明るい将来に向け、積極的に自動積立投資を活用してみたいはいかがでしょうか。



ここに注目

2018年から、「積立NISA」という非課税制度が始まります。投資上限額は年間40万円ですが、非課税期間が20年と長いため、コツコツ資産を積み上げながら、長期にわたって非課税のメリットを享受できます。長期の資産形成の後押しとなるので、若い世代の方にもご注目いただけるのではないのでしょうか。

（ただし、積立NISAは現行のNISA制度と併用ができないなど注意点があります。）

nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00